

シール材（コンパウンド）の適用範囲

対応できる流体

実績のある主な流体は右のとおりです。ほとんどの化学物質に対応可能です。実証試験により検証された流体耐性確認表には現在 330 種の流体のデータが集約されており、その情報をもとに最適のシール材（コンパウンド）を選定します。

実績のない物質については研究部門と慎重な検討を行い、対応の可否を判断します。

※ なお、有毒ガスや漏れ量の多い硫酸などは安全上の問題で施工できない場合があります。正確な情報提供をお願いいたします。

気体	空気・蒸気・水素・窒素・炭酸ガス・エタン・ブタン・メタン・プロパン・都市ガス 天然ガス・亜硝酸ガス・一酸化炭素・フッ素・硫化水素など
液体	水・ブライン・塩酸・硫酸・酢酸・リン酸・蟻酸・苛性ソーダ・硝酸・アルコール・キシレン・ヘキサン・フェノール・ホルマリン・塩ビモノマー・原油・ナフサ・ケロシン・ジェット燃料・ガソリン・軽油・重油・潤滑油など

バルブフランジ（ワイヤー工法）の実績

ワイヤー工法：フランジ面間の外周に真鍮ワイヤーを挿入し、ガスケットとワイヤーの間にシール材を充填する施工方法
※フランジの隙間が 7mm 程度 ※非可燃性流体に限る

圧力：	負圧～4.0MPa
温度：	-20℃～350℃
サイズ：	～2B（フランジの隙間 6mm以下）、3B～（フランジの隙間 8mm 以下）

バルブフランジ（クランプ工法）の実績

クランプ工法：フランジ面間の隙間に治具（クランプ）を取付け、ガスケットとクランプの間にシール材を充填する施工方法
※フランジの隙間が 7mm 以上でも可能
※治具を取付けるスペースが必要
※調査をしてオーダーメイドで治具を製作するため納期がかかる

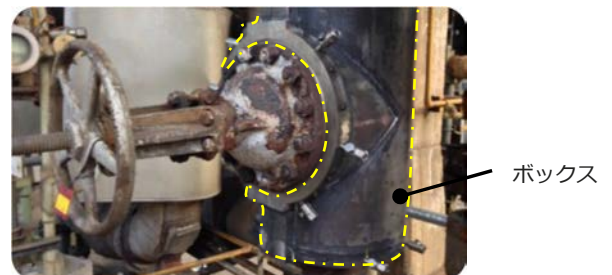
圧力：	負圧～23.4MPa
温度：	-20℃～460℃
サイズ：	1/2B～60B



バルブ（ボックス工法）の実績

ボックス工法：バルブを覆い囲む治具（ボックス）を取付け、ボックスの合わせ面に加工してある溝にシール材を充填する施工方法
※治具を取付けるスペースが必要
※調査をしてオーダーメイドで治具を製作するため納期がかかる

圧力：	負圧～20.0MPa
温度：	-25℃～540℃
サイズ：	Φ6～12B



お問い合わせ先

富士ファーマナイト株式会社 www.furmanite.co.jp

Tel : 044-948-8833 Fax : 044-777-5810

E-mail: technical_support@furmanite.co.jp